

## 広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第1回運営委員会 会議録

日 時 平成26年6月11日(水) 15時00分～16時30分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟4階協議室

出席者 (委員) 波多野委員長、柿本委員、中島委員、東委員、弘中委員  
(プラザ) 田村館長、樋口主任

### 議事及び会議要旨

#### 議事1 平成25年度事業報告について

平成25年度事業実績について事務局から報告を行い、事業評価等について意見が交わされた。

- ・各事業について目標数値が設定されているが、数値ばかりを追い評価するのはどうかと思う。
- ・有料施設の稼働率が低下しているということだが、プラザにマルチメディアスタジオがあることを知らない人が多いように思う。もっとパンフレットなどを配ってPRしていく必要があるのではないか。
- ・美術館等の展示会場は使用料が高く競争も激しい。プラザ1階の展示ロビーは市民にとって大変利用しやすい。
- ・カルチャーセンターの受講者など、展示発表をしたいと思っている人は多いと思うので、そういう人たちにもっと施設をPRするとよいのではないか。

○プラザでは、民間情報紙などに施設紹介を掲載してもらうことも検討したが、有料のためなかなか広告料を捻出するのは難しい。

○プラザのスタジオは映像スタジオのため、音響設備は整っていない。音楽系の利用は限られてしまう。

- ・スタジオの利用率が低いのは仕方ないのではないか。スタジオの設備を使いこなすためにはある程度のスキルが必要であり、研修室等と異なり利用内容が限られてしまうため、利用率は上がりにくいように思う。
- ・スタジオの特色をもっとPRしていくことは必要である。
- ・漫画やアニメは若い人たちに人気である。プラザ主催で漫画やアニメの作製講座を実施し、スタジオで発表会を行うというのはいかがでしょうか。大学の美術学科にもアニメコースがある。
- ・スタジオ活用として、映像文化ライブラリーとのタイアップ事業を考えてみるのもよいのではないか。他の公共施設との連携を図ることも大切である。
- ・「使ってください」というだけでは稼働率は上がらない。プラザがスタジオ等の特色を生かした事業を企画・実施することで、プラザを利用したいと思う市民が増え、少しずつ稼働率もあがってくるのではないか。
- ・まちづくりワークショップは、子ども会の課題解決に向けたワークショップを行ったとあるが、課題の共有と解決策を話し合うだけで終わらないことが大切である。事業終了後にどのように生かされたか実践発表の機会を設けるとよい。
- ・プラザが実施する講座は、この数年でしっかり根付いてきているように思う。今後はもう一歩発展させて、1事業でよいので受講後の成果を発表する場を考えていくとよい。プラザで学ん

だ人たちがその後どうなったのかを把握していくことが必要である。

## 議題2 平成26年度事業計画について

平成26年度事業内容について事務局から説明を行い、意見が交わされた。

- ・新規事業の市民活動団体パワーアップ講座がどのようなものになるか楽しみである。コミュニティビジネスなどの成功例の紹介があるとよいのではないか。
- 講座の中で成功事例を発表してもらうのもよいと考えている。
- ・公民館職員のスキルアップ研修をプラザで取り組んだら、公民館ともっと連携できるのではないか。
- 公民館職員の研修は、ひとまち部管理課を中心に体系的に実施している。

## 議事3 まちづくり市民交流プラザの管理・運営について

平成25年度に広島市が実施した「利用者アンケート」の結果について、事務局から報告を行い意見が交わされた。

- ・アンケート結果をみると市外の利用者が多くなっているようだが、どこの地域の人か。
- 海田・府中方面などの周辺市町からの問い合わせが多い。
- ・その地域も事業等のターゲットに含んでもよいのではないか。
- ・70歳代以上の利用が多いようだが、入館者数の減少については地域の高齢化が影響しているように思う。高齢になるとプラザまで出かけることが難しくなる状況がある。地域に公民館があるので、そこを利用するようになるのではないか。

## 議事4. その他について

次回の運営委員会は、平成26年10月15日（水）午後3時からの開催とする。

閉会